

大 和 川 水 環 境 白 書

令和 4 年 3 月

大和川水環境協議会

目 次

1. はじめに.....	1
2. 大和川流域の概要.....	3
2.1 流域の概況.....	3
2.2 水質環境基準の類型指定.....	4
3. 計画のあらまし.....	5
3.1 大和川水環境改善計画とは.....	5
3.2 計画の目標年.....	5
3.3 水環境改善の方向性.....	5
3.4 目標指標の設定.....	5
4. 目標指標の状況.....	7
4.1 改善項目（BOD）.....	7
4.2 住民連携項目.....	15
5. 監視項目の状況.....	17
5.1 アンモニア性窒素.....	17
5.2 糞便性大腸菌群.....	19
5.3 T-N(全窒素)、T-P(全リン).....	21
5.4 陰イオン界面活性剤.....	22
6. 施策の実施状況.....	23
6.1 施策の概要.....	23
6.2 取り組みの例.....	24

1. はじめに

大和川の水質は、昭和 45 年には本川 8 地点の平均水質（BOD75%値）が 31.6mg/L となるなど、高度成長期に劣悪な水質を呈していた。このため、国土交通省、奈良県、大阪府、流域の関係市町村が連携して「大和川水質汚濁防止連絡協議会（昭和 42 年 5 月）」、「大和川清流ルネッサンス協議会（平成 5 年 11 月）」を設立し、それぞれ工業排水と生活排水を対象とし大和川の水質改善に取り組んできた。また、平成 17 年 9 月には両協議会を統合した「大和川水環境協議会」を発足し、平成 18 年 9 月に C プロジェクト計画 2006（水環境編）を策定し、平成 22 年の平城遷都 1300 年を目標年とした 3 つの水環境改善対策について、流域住民・関係機関等が連携・協働した活動が繰り広げられてきた。

その結果、平成 20 年には本川 8 地点全てにおいて BOD が環境基準を達成して全国の一級水系ワースト 1 を脱却したほか支川においても環境基準に近いレベルまで改善するなど大きな成果が現れてきた。

しかし、依然として環境基準を達成できていない支川は多いうえ、目標像として掲げた「子どもが水しぶきをあげて遊べる河川」や「ホテル等のすめる川」にはなっていないというのが実感と思われる。さらに、奈良県の「なら水循環ビジョン」における里川の再生や流域に住む方々からの声として「いいものが流れくる川づくり」、「海から見た川づくり、里山づくり」、「親水という人の心が地域になじむ取り組み」、「川の物質循環の中で生きる折り合いをつける工夫」など、これまでにない発想による水質改善に対する意見も寄せられている。

このため、大和川水環境協議会では、「大和川水環境改善計画（事業期間：平成 23 年度～平成 27 年度）」を平成 24 年 2 月に策定し、水環境の改善に向けた取り組みを進めているところであるが、目標像として掲げる「遊べる大和川」、「生きものにやさしい大和川」、「地域で育む大和川」を実現するには至っていない。

以上のような経緯をふまえ、目標像の実現に向けて、さらなる水環境改善のための取り組みを推進することを目的として、「大和川水環境改善計画」を平成 28 年 2 月に改定した。本計画では、従前計画における水環境改善の方向性・目標像は継続し、課題に応じたきめ細やかな目標を設定している。

本計画に定める水環境改善のための取り組みは、国、府県、市町村、住民等の関係機関が連携し、それぞれの主体の実情に応じて、実行可能なものから着実に実施する。また、計画がより効果的なものとなるように、その進捗状況や水環境改善状況等についてモニタリングを行うとともに、施策の評価を行い、必要に応じて施策の見直しや新規施策の導入を図る。

本冊子は、大和川水環境改善計画の令和元年度等の取り組み成果を踏まえて、目標水質の達成状況、施策目標の達成状況、計画施策の実施状況の点検及び課題整理を行い、その結果概要をとりまとめたものである。

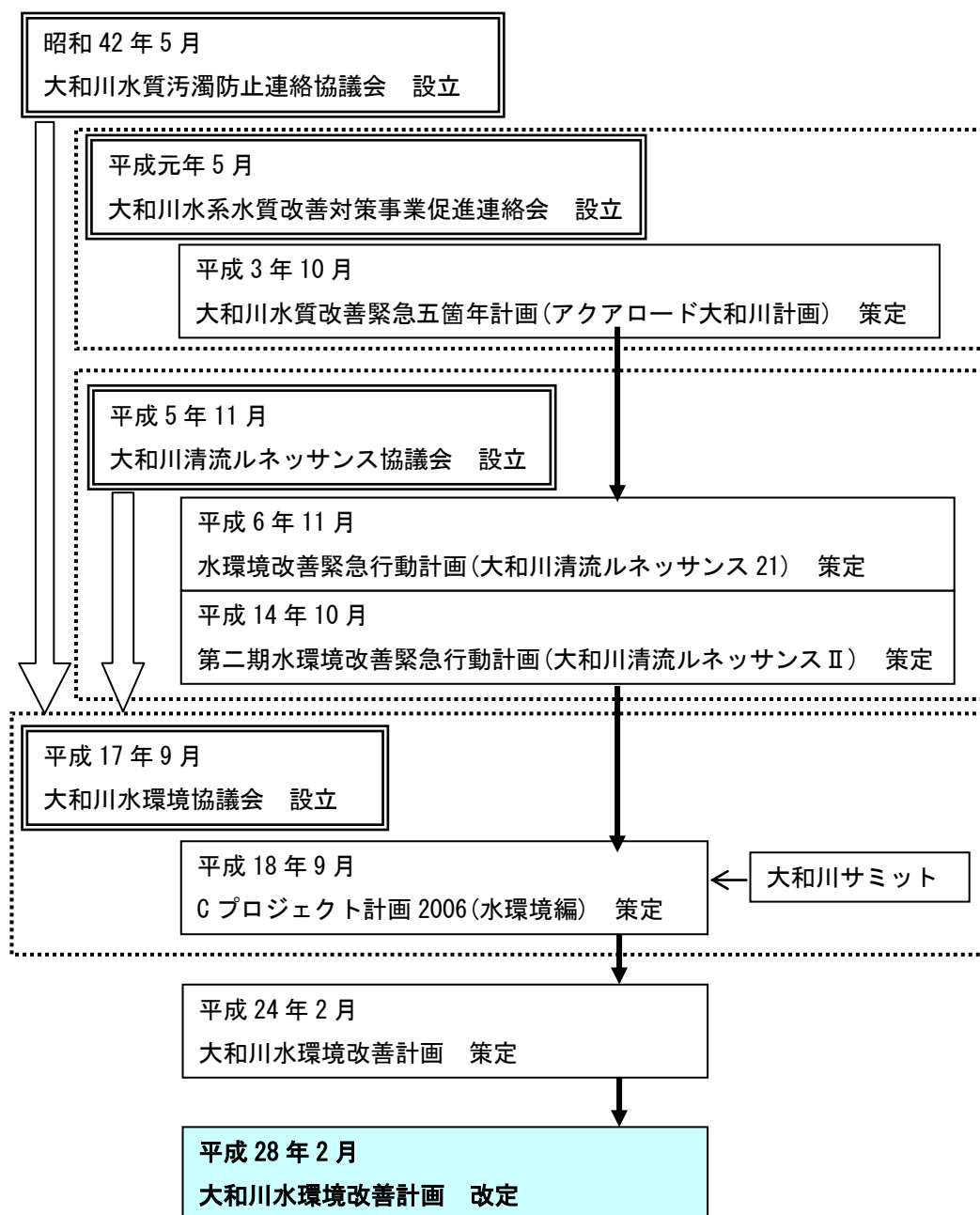


図 1.1.1 大和川の水環境保全に係る流域連携のあゆみ

【大和川水環境協議会】

国土交通省・奈良県・大阪府

奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・生駒市・香芝市・
葛城市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・高取町・

明日香村・上牧町・王寺町・広陵町・河合町

大阪市・堺市・八尾市・富田林市・河内長野市・松原市・柏原市・羽曳野市・藤井寺市・

大阪狭山市・河南町・太子町・千早赤阪村

2. 大和川流域の概要

2.1 流域の概況

大和川は、水源を笠置山地に発して初瀬川溪谷を北西に流れ、奈良盆地周辺の山地より南流する佐保川、秋篠川、富雄川、竜田川、北流する寺川、飛鳥川、曾我川、葛下川等の大小の支川を合わせながら西流する。その後、大阪府と奈良県の府県境にある亀の瀬狭窄部を経て河内平野に入り、和泉山脈を水源とする左支川石川、東除川、西除川を合わせ、浅香山の狭窄部を通過し、大阪湾に注ぐ幹川流路延長 68km、流域面積 1,070 km²の一級河川である。

流域の市町村は大阪市、堺市、柏原市、奈良市、橿原市など 20 市 14 町 2 村にまたがり、流域の下水道計画区域内人口は約 202 万人(令和 2 年度時点)である。

大和川流域内人口は、昭和 30 年代までは 100 万人以下であったが、昭和 40 年代からの急激な都市化に伴い、奈良県域及び大阪府域ともに人口が急増し、昭和 60 年代に 200 万人に達し、平成元年以降は概ね横ばいで推移している。

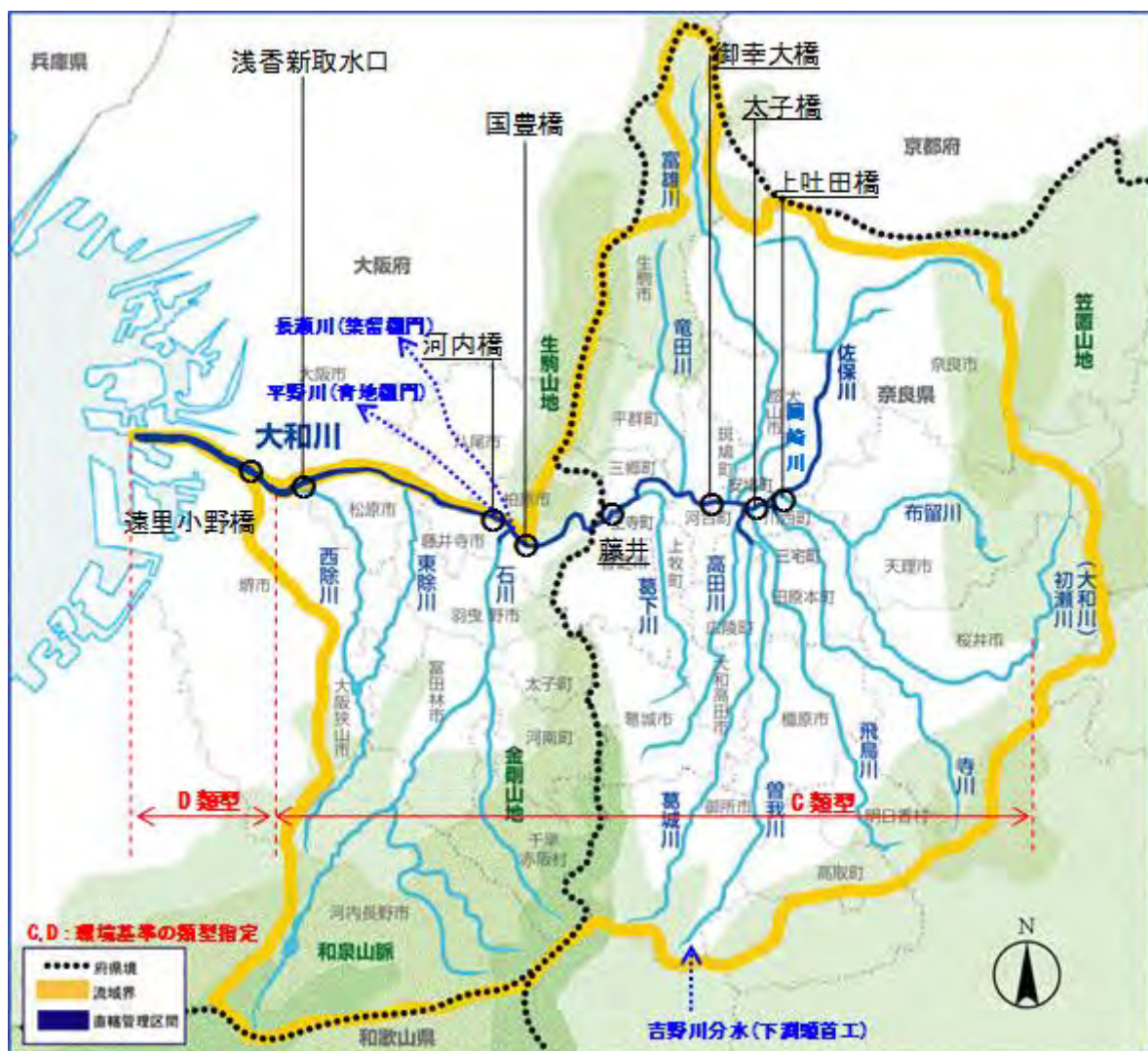


図 1 大和川流域の概要

2.2 水質環境基準の類型指定

大和川の水質基準は、昭和 42 年制定の公害対策基本法に基づき、昭和 45 年に水質の環境基準が定められ、公共用水域の水質保全のため、排出規制、下水道整備等を総合的に推進するための共通の行政目標が設定されている。

大和川本川における生活環境の保全に関する環境基準として、BOD については、桜井市初瀬取水口より上流が A 類型 (BOD2mg/L 以下など)、桜井市初瀬取水口から浅香山までが C 類型 (BOD5mg/L 以下など)、浅香山から下流が D 類型 (BOD 8mg/L 以下など) に指定されている。

なお、表 1 に示すように大和川水域では水生生物の保全に関する環境基準も類型指定されている。平成 24 年 8 月及び平成 25 年 3 月に、水質汚濁に係る環境基準の改正があり、水生生物の保全に関する環境基準にノニルフェノール及び LAS (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩) が追加されている。

表 1 水生生物の保全に関する環境基準の類型指定の概要

管理者	水域名	達成期間	水域類型	全亜鉛 (mg/L)	ノニルフェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
国	大和川本川(全域)	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
大阪府	石川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	千早川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	天見川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	石見川	イ	生物A	0.03	0.001	0.03
	飛鳥川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	梅川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	佐備川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	東除川	ロ	生物B	0.03	0.002	0.05
	西除川(狭山池上流)	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
参考	水域類型指定の適応性					
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域					
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域					

注1) 基準値は、年間平均値とする。

注2) 表の達成期間は以下に定める通りとする。

イ：直ちに達成する ロ：5年以内に可及的速やかに達成する

【全亜鉛】

- ・亜鉛は、シャンプーなど身の回りで使用する多種多様な製品に含まれており、水域中では特に水生植物(藻類や水草等)への毒性が認められている。

【ノニルフェノール】

- ・ノニルフェノールは、非イオン界面活性剤のノニルフェノールエトキシレートが水環境中で微生物によって分解される化学物質であり、環境ホルモンの疑いがもたれている。ノニルフェノールエトキシレートは主に工業用の洗浄剤、分散剤等として利用されている。

【LAS(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)】

- ・LAS は、家庭用の洗濯洗剤や業務用洗剤、繊維工業用染色助剤、農薬乳化剤、羊毛・合繊の洗剤等に使用されており、水生生物に対し有害性が指摘されている。

3. 計画のあらまし

3.1 大和川水環境改善計画とは

大和川流域の住民や事業者、大和川流域 36 市町村、奈良県、大阪府、国土交通省等が役割分担し、身近な河川や大和川をきれいにするための水環境の改善対策を推進するための実施計画である。本計画では、大和川の水環境改善の方向性の提示、その実現にふさわしい指標の選定及び目標値の設定を行っている。

3.2 計画の目標年

平成 27 年度に策定し、令和 2 年度を目標年とする 5 ヶ年計画（平成 28 年度から適用）であったが、新型コロナウイルス感染拡大により十分な取り組み等が実施されてなかったため、令和 3 年まで期間延長を行っている。

3.3 水環境改善の方向性

「遊べる大和川」「生きものにやさしい大和川」「地域で育む大和川」を水環境改善の方向性（目標像）とし、課題に応じたきめ細やかな目標を設定している。

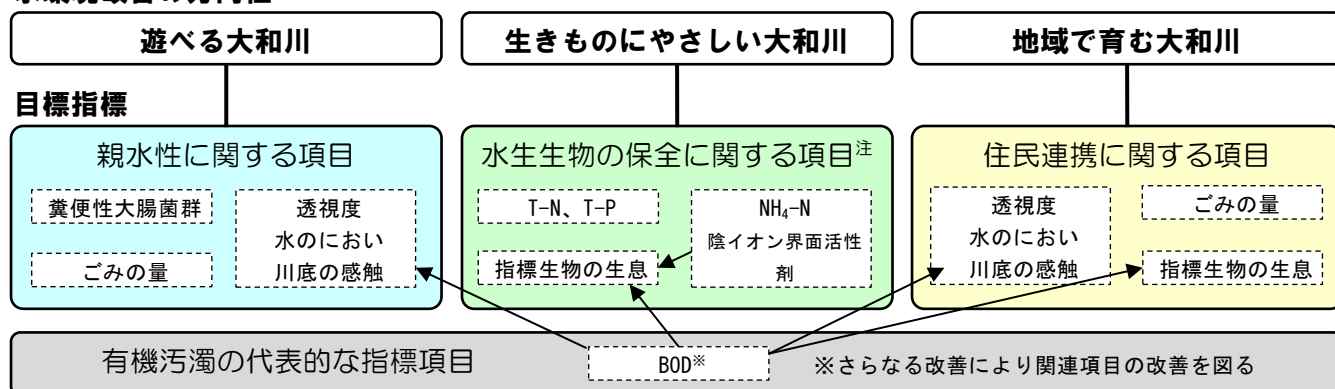
表 2 大和川水環境改善の方向性

遊べる大和川	大和川の本川・支川それぞれの水辺状況を踏まえて、「水遊びができる」や「親しめる」等の水環境の改善を推進する。
生きものにやさしい大和川	本川や支川の水環境は、本川、支川及びなほの海の生きものの生育・生息に関わっており、多様な生きものにやさしい水環境の再生を目指し、動植物の生育・生息環境と水環境の関係の調査研究を進め、生物多様性の保全と再生を推進する。
地域で育む大和川	「水を汚さず、汚した水をきれいに流す」、「散乱ごみをなくす」、「生きものに影響を与える物質は使わないようにする」、「水は有効に利用する」等、水に愛着を持って守りながら使う「里川の再生」を大和川本川及び支川毎に地域ぐるみで一体となって推進する。
「緊急時の水道利用の可能性について」 上記の実施により、緊急時に飲み水用の水源として、本川からの取水が可能になるような水環境改善効果を期待している。	

3.4 目標指標の設定

水環境改善の方向性にふさわしい目標指標が図 2 のとおり設定されている。また、各目標指標における目標値を、表 3 のとおり設定している。

水環境改善の方向性



注：水生生物の保全に関する環境基準項目である全亜鉛（H15.11.5 環境省告示）、ノニルフェノール（H24.8.22 環境省告示）、LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）（H25.3.27 環境省告示）については、現時点で環境基準値を満足していることから目標値は設定しないが、経過観察することとする。

図 2 水環境改善の方向性と目標指標の関連

表 3 目標指標の設定根拠、目標水質

目標指標	選定根拠	対応する目標像	目標水質	
BOD (改善項目)	・ 人為的な有機汚濁の代表的な指標であり、生活環境の保全に関する環境基準項目である。 ・ 透視度、水のおい、川底の感触とも関連する項目である。	・ 遊べる大和川 ・ 生きものにやさしい大和川 ・ 地域で育む大和川	計画目標の達成※	・ 75%値で評価 ・ 各地点で環境基準 B 類型 (3mg/L 以下) 相当を目指す ・ 環境基準未達成の一部地点 (重点区域) は環境基準達成を目指す ・ 環境基準 A, B 類型相当の水質を達成している地点は現状維持 (要監視)
透視度、水のおい、川底の感触、ごみの量 (住民連携項目)	・ 分かりやすく、流域住民になじみのある指標を用いることで、流域住民の意識向上と連携強化を図る。	・ 遊べる大和川 ・ 地域で育む大和川	B ランク	・ 人の感覚による水質指標で評価
指標生物の生息 (住民連携項目)		・ 生きものにやさしい大和川 ・ 地域で育む大和川	B ランク	・ 豊かな生態系の確保に係る水質評価ランクで評価
アンモニア性窒素 (監視項目)	・ 生活排水や畜産排水、工場排水に含まれるタンパク質や有機窒素化合物が分解する過程で発生し、水のおいとも関連する。 ・ アユや底生生物の生息に支障を及ぼすと考えられている。	・ 生きものにやさしい大和川	B ランク (0.5mg/L 以下)	・ 「今後の河川水質管理の指標について (案) H21.3」における「生物の生息・生育・繁殖環境として良好 (B ランク評価)」相当 ・ BOD (N-BOD) の上昇や水生動物等への影響が考えられることから、極力低減する必要があるため、年度最大値で評価
糞便性大腸菌群数 (監視項目)	・ 水浴場の水質判定基準であり、検出数が多い水域では病原性細菌等による感染リスクが高くなる。 ・ 遊べる大和川を目指す上で、水質面での安全性の指標となる。	・ 遊べる大和川	水質 C (1,000 個/100mL) 以下	・ 水浴場の判定基準「可」相当 ・ 夏季に上昇する傾向があることから、盛夏 (7~8 月) の平均値で評価
陰イオン界面活性剤 (監視項目)	・ 洗剤に含まれる成分であり、生活排水による汚濁と関連が強い項目である。 ・ 生物の生息に影響を及ぼしている可能性がある。	・ 生きものにやさしい大和川	さらなる削減	・ 「検出されないこと」が望ましいが、現況を踏まえると現実的ではないため、さらなる削減を目指し監視する ・ 冬季に高くなる傾向があることから、1-2 月の平均値で監視する
T-N、T-P (監視項目)	・ 閉鎖性水域の富栄養化防止と、海域への健全な栄養塩類の供給の視点から監視する必要がある。	・ 生きものにやさしい大和川	平成 18~22 年流出負荷量の変動の範囲内	・ 5 ヶ年の変動幅と比較することで、大和川最下流部における経年的な変化を監視する

※大和川水環境改善計画において、BOD の目標水質を以下のとおり設定している。(大和川水環境改善計画より抜粋)
「環境基準 B 類型以上相当の水質 (3mg/L 以下) を目指すことを目標とする。しかし、一部の支川では環境基準未達成の状況がみられることから、まずは全ての地点で環境基準の達成を目指すこととし、平成 25 年度または平成 23~25 年度平均値で環境基準を未達成の 10 支川の流域については、重点区域として設定し、重点的な改善を目指す。現況で環境基準 A、B 類型相当の水質を達成している地点については、目標値を設定せず、現状維持 (要監視) とする。」

表 4 目標指標の分類

分類	目標指標	目標指標の位置づけ
改善項目	BOD	発生源対策、汚濁負荷削減対策等により目標達成を図る項目
住民連携項目	透視度、水のおい、川底の感触、ごみの量、指標生物の生息	住民の意識向上や住民の主体的な行動を引き出す水質項目 発生源対策等を通じて流域住民と連携して目標達成を図る
監視項目	アンモニア性窒素、糞便性大腸菌群数、陰イオン界面活性剤、T-N、T-P	関連する水質基準等をふまえて当面望ましい目標値を設定し、監視に努める項目 目標達成に向けた具体策について調査研究を進める

4. 目標指標の状況

4.1 改善項目（BOD）

(1) 本川

- ・令和2年度のBOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、5地点中4地点で達成した（要監視の地点を除く）。また、環境基準は全8地点で達成した。
- ・経年的な変化をみると、奈良県域で目標値を上回る年度が見られるものの、近年継続して環境基準レベルを維持している。

本川8地点の目標水質の状況を表5、地点別のBOD75%値達成状況（計画目標、環境基準）を図3～図4、本川8地点の調査箇所を図5、本川8地点平均のBODの経年変化を図6に示す。

表5 本川の目標水質(BOD)と年度BOD75%値の状況

地点	環境基準点	環境基準		目標値	BOD75%値									
		類型	基準値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
カミハンダバシ 上吐田橋	○	C	5	3.0	4.3	2.8	3.5	3.3	3.6	4.2	2.8	3.3	3.7	2.9
タイシバシ 太子橋	○	C	5	3.0	4.6	4.0	4.0	3.4	3.6	3.6	3.8	3.4	3.5	3.5
ミユキオオハシ 御幸大橋	○	C	5	3.0	3.5	3.9	3.2	3.0	3.4	2.8	3.1	2.7	3.0	3.0
フジイ 藤井	◎	C	5	3.0	3.5	3.9	3.2	2.9	2.9	3.1	3.4	2.4	3.1	2.9
クニトヨバシ 国豊橋	○	C	5	3.0	3.1	3.4	2.6	2.1	2.3	2.3	2.6	2.4	2.5	2.2
カワチバシ 河内橋	◎	C	5	—(要監視)	2.5	2.5	2.0	1.8	2.0	1.9	2.0	1.8	2.1	1.8
アサカシンシュスイコウ 浅香新取水口	◎	C	5	—(要監視)	2.0	2.0	1.7	1.6	2.1	2.3	1.8	2.0	1.8	1.9
オリオノバシ 遠里小野橋	◎	D	8	—(要監視)	2.4	2.2	2.0	1.7	2.2	2.1	2.0	1.8	2.0	2.0

○準基準点

赤字は環境基準値を超える

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

環境基準：A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下

類型指定：H29年度時点

(mg/L)

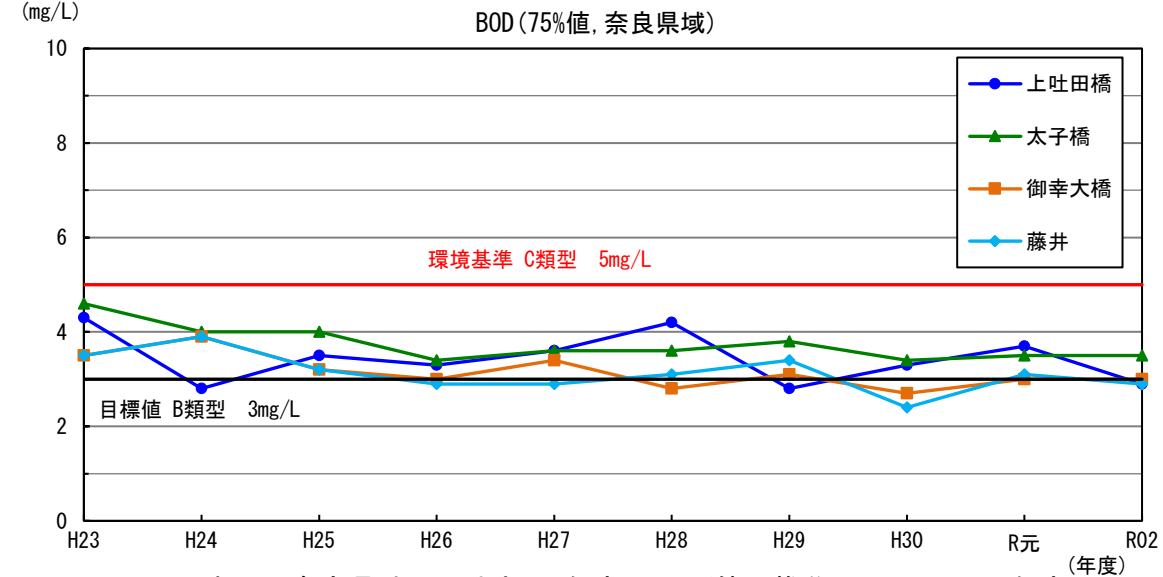
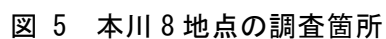
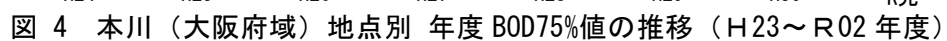
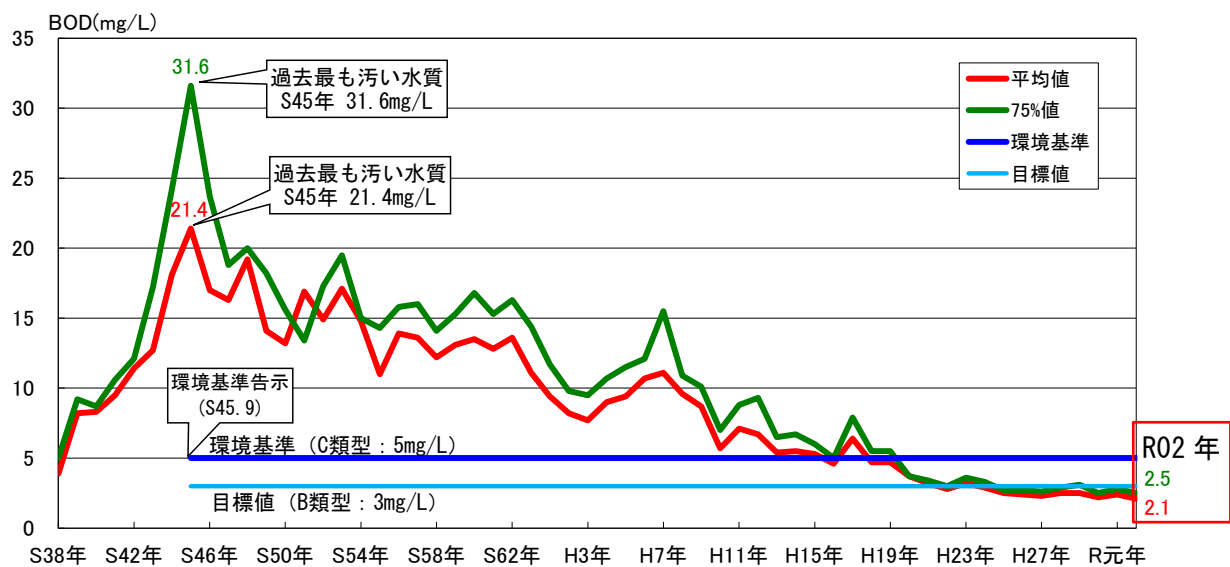


図3 本川（奈良県域）の地点別 年度BOD75%値の推移（H23～R02年度）





※年単位で集計

図 6 本川 8 地点平均 BOD の推移

(2) 支川(奈良県域)

- ・令和2年度のBOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、23地点中20地点で達成した（要監視の地点を除く）。また、環境基準は30地点中28地点で達成した。
- ・環境基準を達成していない地点は、岡崎川流末（岡崎川）、平群橋（竜田川）である。これらの地点は重点区域であることから、引き続き発生源対策等に努めることが必要である。

奈良県域の支川・地点別の目標水質(BOD)の状況を表6に示す。

表6 支川(奈良県域)の目標水質(BOD)と年度BOD75%値の状況

河川	地点	環境基準点	環境基準		目標値	BOD年度75%値									
			類型	基準値		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02
大和川	デグチバス 出口橋	○	C	5	—(要監視)	1.2	1.4	1.3	1.5	1.4	1.1	1.6	0.9	1.0	1.3
布留川	フルカワリュウマツ 布留川流末	◎	C	5	—(要監視)	2.3	1.7	2.6	1.7	1.8	2.3	3.0	1.7	1.8	2.7
佐保川	サンジョウタカハシ 三条高橋	◎	B	3	—(要監視)	1.0	0.9	0.9	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8
	グンカイバス 郡界橋	○	C	5	3.0	3.6	3.7	2.5	2.2	2.7	2.9	2.3	2.5	3.4	2.9
	イヅツバス 井筒橋	○	C	5	3.0	3.7	4.8	3.8	3.2	3.4	4.3	4.0	2.3	3.7	2.5
	ヌカタベタカハシ 額田部高橋	◎	C	5	3.0	3.6	3.9	3.3	3.5	3.3	3.6	3.5	3.0	3.7	3.3
菩提川	ボダイガワリュウマツ 菩提川流末	◎	C	5	5.0	4.7	6.9	3.4	2.5	4.7	3.1	3.7	3.5	5.7	4.0
菰川	コモガワリュウマツ 菰川流末	—	—	—	5.0	6.6	4.4	4.4	3.9	4.9	4.2	4.6	3.5	3.3	3.5
秋篠川	アキシノガワリュウマツ 秋篠川流末	◎	C	5	5.0	5.9	3.8	5.7	5.0	4.4	3.8	4.5	3.3	4.5	3.8
寺川	コウジンバス 興仁橋	○	C	5	3.0	3.3	2.9	4.6	3.0	2.3	4.3	3.3	2.9	3.0	2.2
	ハンダバス 吐田橋	◎	C	5	3.0	2.4	2.9	4.7	3.3	3.0	2.8	2.8	2.8	2.9	2.6
飛鳥川	アマカシバス 甘檉橋	○	A	2	—(要監視)	1.2	1.1	1.3	1.0	1.0	1.0	1.2	0.8	0.7	0.9
	シントウバス 神道橋	◎	A	2	—(要監視)	1.5	1.2	2.0	1.2	1.4	1.5	1.1	0.9	1.3	1.2
	ホタバス 保田橋	◎	C	5	3.0	2.7	3.0	3.8	3.0	3.1	3.0	2.9	2.1	3.3	2.8
曾我川	ヒガシバス 東橋	○	C	5	3.0	2.6	2.4	3.2	2.1	2.2	2.2	1.9	1.5	2.0	1.9
	ソガガワバス 曾我川橋	◎	C	5	3.0	7.0	3.4	4.0	2.6	3.6	3.1	2.6	1.5	1.8	2.3
	コヤナギバス 小柳橋	◎	C	5	3.0	3.0	3.2	3.7	2.1	1.7	2.5	1.6	1.1	1.3	1.4
	タモツバス 保橋	○	C	5	3.0	2.9	3.4	3.2	2.4	2.8	2.7	3.1	2.5	2.4	2.7
葛城川	サクラバス 桜橋	○	C	5	—(要監視)	1.7	1.7	1.6	1.5	1.6	1.1	1.5	1.2	1.1	1.6
	カレギバス 枯木橋	◎	C	5	5.0	4.7	8.5	6.2	5.2	5.8	5.6	5.4	3.5	3.3	3.8
高田川	ホソイダバス 細井戸橋	○	C	5	5.0	4.6	5.5	6.4	7.6	5.1	7.5	6.6	5.7	6.2	4.0
	サトアイバス 里合橋	◎	C	5	5.0	5.0	4.5	5.5	4.5	4.9	3.3	3.2	3.3	3.8	3.8
岡崎川	ショウワオオバス 昭和大桥	○	C	5	3.0	4.0	2.9	5.0	5.6	3.9	2.2	7.8	4.3	5.5	2.9
	オカザキガワリュウマツ 岡崎川流末	◎	C	5	5.0	7.0	5.7	9.8	7.5	9.1	8.1	7.8	4.8	5.9	7.5
富雄川	シバ 芝	◎	B	3	—(要監視)	2.3	3.0	2.8	2.5	2.1	2.0	2.0	1.8	1.9	2.4
	オオウダバス 大和田橋	○	C	5	—(要監視)	2.0	2.1	2.8	2.0	1.8	1.6	2.3	1.7	2.9	1.7
	イトリバス 弋鳥橋	◎	C	5	5.0	5.0	3.9	5.2	4.1	4.0	4.2	3.7	3.6	4.4	3.7
竜田川	ヘグリバス 平群橋	○	C	5	3.0	4.0	3.4	4.3	4.8	3.4	4.3	6.0	6.4	6.5	5.5
	タツタオオバス 竜田大橋	◎	C	5	5.0	4.2	3.3	5.3	3.7	3.6	4.0	3.7	3.0	2.9	3.6
葛下川	シンバス 新橋	○	C	5	5.0	12.0	4.8	5.7	5.6	3.3	5.8	7.6	5.4	4.3	4.2
	だるま橋	◎	C	5	5.0	5.3	4.5	5.3	3.9	4.0	3.8	4.0	3.1	3.1	3.0

○準基準点

赤字は環境基準値を超える

青字は重点区域

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

環境基準：A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下

類型指定：H29年度時点

1) 主要支川の BOD 改善状況（佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川）

主要支川（佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川）の年度 BOD75%値の推移を図 7 に、調査箇所的位置図を図 8 に示す。

いずれの支川も近年継続して環境基準を達成している。

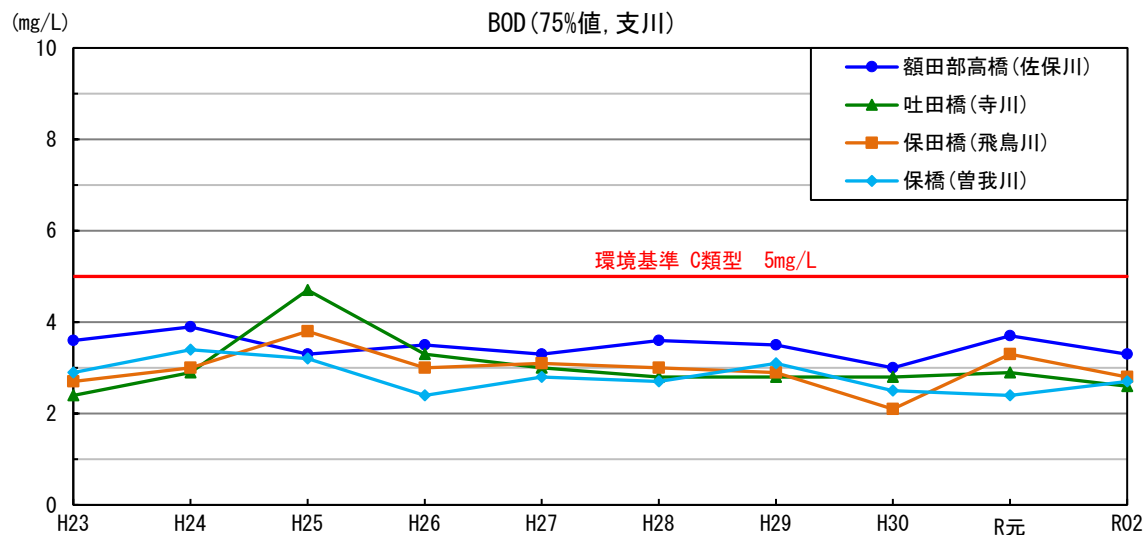


図 7 佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川の年度 BOD75%値の推移

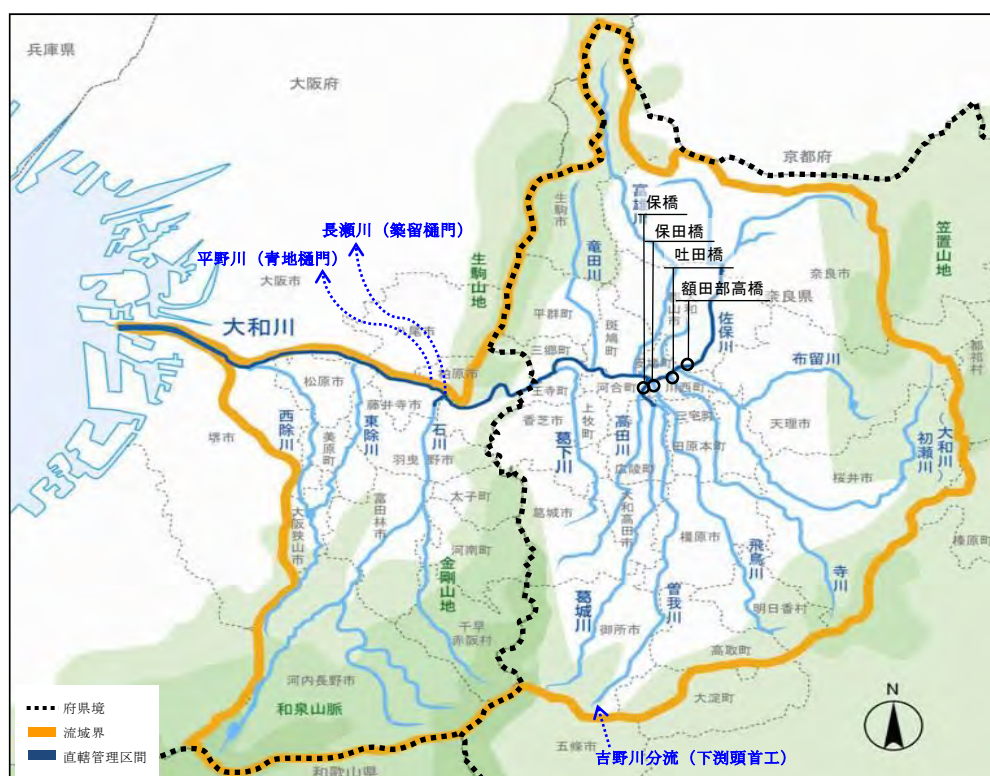


図 8 佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川の調査箇所

2) 主要支川の BOD 改善状況（岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川）

主要支川（岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川）の年度 BOD75%値の推移を図 9 に、調査箇所的位置図を図 10 に示す。

平成 26 年度以降は岡崎川を除いて環境基準を達成している。平成 30 年度においては岡崎川も環境基準を達成しているが、変動が大きいことから今後も変動に注視が必要である。

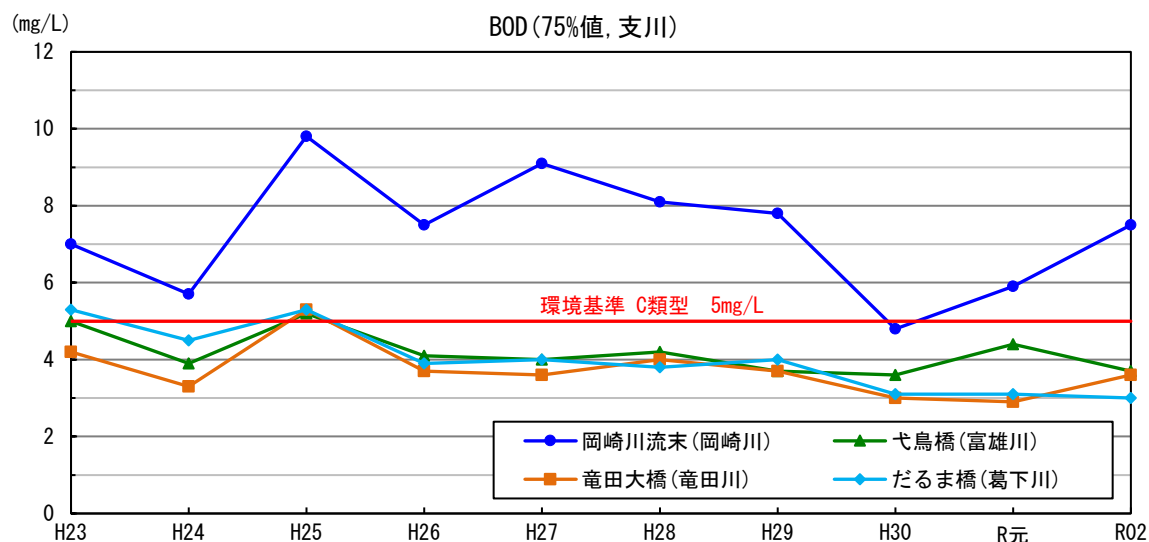


図 9 岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川の年度 BOD75%値の推移

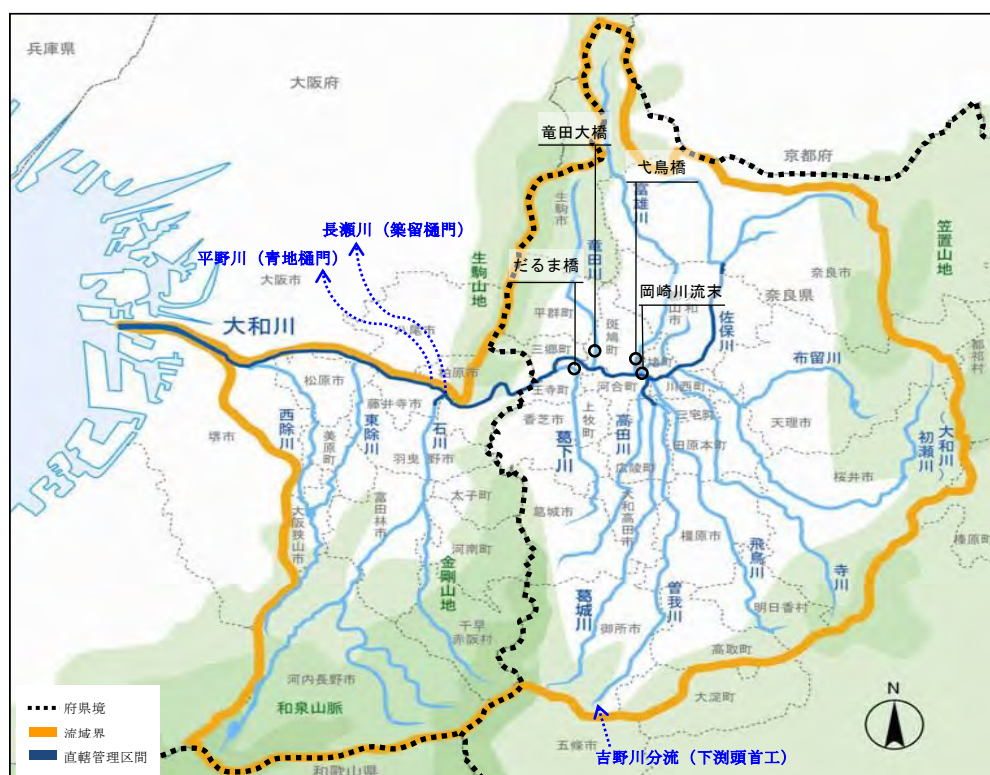


図 10 岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川の調査箇所

(3) 支川(大阪府域)

- ・令和2年度のBOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、4地点中2地点で達成した(要監視の地点を除く)。また、環境基準は12地点中11地点で達成した。
- ・狭山池流出端(西除川)は、要監視地点であるが、近年連続して環境基準を達成できていない。
- ・近年は概ね水質が安定しているが、一部で変動が大きな地点もみられるため注視が必要である。

大阪府域の支川・地点別の目標水質(BOD)の状況を表7に示す。

表7 支川(大阪府域)の目標水質(BOD)と年度BOD75%値の状況

河川	地点	環境 基準点	環境基準		目標値	BOD75%値									
			類型	基準値		現計画期間									
						H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02
石見川	シンタカノバシ 新高野橋	◎	AA	1	—(要監視)	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6
天見川	シンキタバシ 新喜多橋	◎	A	2	—(要監視)	0.8	1.0	1.1	1.0	1.1	0.9	1.4	1.2	1.1	0.9
石川	タカハシ 高橋	◎	B	3	—(要監視)	1.1	1.0	1.6	1.1	1.6	1.5	1.8	1.6	1.7	1.2
佐備川	オオトモバシ 大伴橋	◎	B	3	—(要監視)	2.1	2.5	2.1	1.8	1.9	2.1	2.6	1.8	1.7	1.4
千早川	イシカワゴウリュウチョクゼン 石川合流直前	◎	A	2	—(要監視)	0.8	1.0	1.3	0.6	1.1	0.8	1.1	1.3	0.9	0.8
梅川	イシカワゴウリュウチョクゼン 石川合流直前	◎	A	2	—(要監視)	1.1	1.0	1.1	1.1	1.2	1.3	1.4	1.1	1.4	1.6
飛鳥川	エンミョウバシ 円明橋	◎	C	5	5.0	3.2	5.5	5.6	11.0	4.6	4.0	6.7	2.9	4.1	2.9
石川	イシカワバシ 石川橋	◎	B	3	—(要監視)	1.7	1.4	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.0	1.3	0.8
東除川	メイジコバシ 明治小橋	◎	C	5	3.0	4.7	4.1	4.2	3.0	2.9	4.0	3.8	3.5	3.1	2.9
落堀川	ヒガシヨケガワゴウリュウチョクゼン 東除川合流直前	—	—	—	3.0	5.2	3.9	3.5	2.8	3.5	3.5	2.7	2.9	2.8	3.1
西除川	サヤマイケゴウリュウチョクゼン 狭山池合流直前	○	B	3	—(要監視)	1.8	2.1	2.3	1.8	1.5	2.4	2.4	1.6	1.6	1.3
	サヤマイケリュウシュツタン 狭山池流出端	◎	B	3	—(要監視)	2.8	2.0	3.0	3.5	3.6	3.6	4.0	3.4	4.3	4.5
	ヤマトガワゴウリュウチョクゼン 大和川合流直前	◎	D	8	3.0	5.2	2.7	1.7	2.2	2.2	2.3	2.9	2.7	2.6	3.2

○準基準点

赤字は環境基準値を超える

青字は重点区域

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

注：狭山池流出端は目標値を設定せず要監視(現状維持)としているが、H29は環境基準を超過している(「まずは全ての地点で環境基準の達成を目指す」という目標を満たしていない)ことから、目標値を超過した地点として扱う

環境基準：AA類型 1mg/L以下、A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下

類型指定：H29年度時点

※H29.1より石見川、天見川、佐備川の類型指定が変更

1) 主要支川の BOD 改善状況（石川、東除川、西除川）

主要支川（石川、東除川、西除川）の年度 BOD75%値の推移を図 11 に、調査箇所の位置図を図 12 に示す。

いずれの支川も近年継続して環境基準を達成している。

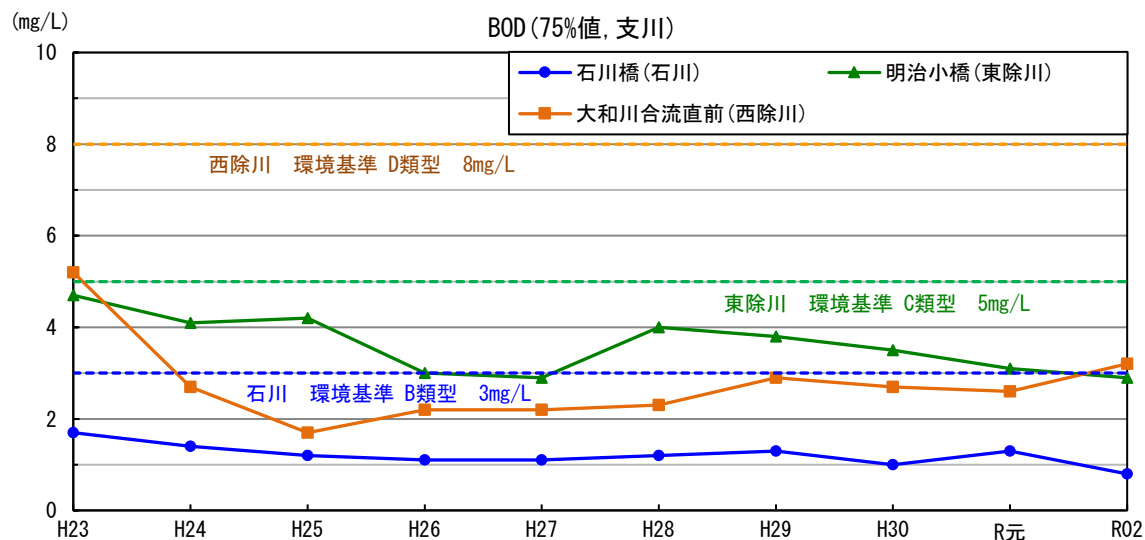


図 11 石川、東除川、西除川の年度 BOD75%値の推移



図 12 石川、東除川、西除川の調査箇所

4.2 住民連携項目

(1) 感覚評価指標

- ・令和2年度は大和川水環境改善計画で定めている目標レベルの達成度が5割(8/16)である。
- ・目標レベルの達成状況は、御幸大橋、藤井、河内、浅香新取水口とも、4指標のうち2指標で目標レベルを達成した。
- ・指標別には、透視度、水のにおいにおいては4地点で目標レベルを達成したが、ごみの量、川底の感触は4地点で達成に至らなかった。
- ・各地点とも、ごみの量、川底の感触が継続して目標レベルを達成できるよう、引き続き対策等に努めることが必要である。

地点別の感覚評価指標による水質評価ランクの推移を表8に、感覚評価指標の評価ランクを表9に示す。

表8 感覚評価指標による水質評価ランクの推移

評価指標	地点	計画目標レベル	現計画期間									
			H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度
ごみの量	御幸大橋	B	B	D	—	C	B	C	B	—	B	C
	藤井	B	B	B	C	C	B	B	B	—	B	C
	河内橋	B	C	D	B	B	B	B	B	B	B	C
	浅香新取水口	B	B	C	B	C	A	B	B	B	B	C
透視度	御幸大橋	B	A	A	—	A	A	A	A	—	B	B
	藤井	B	A	A	B	A	A	B	A	—	B	B
	河内橋	B	A	A	A	A	A	B	A	B	B	B
	浅香新取水口	B	A	A	C	A	B	B	A	B	B	B
川底の感触	御幸大橋	B	B	B	—	B	B	B	B	—	B	C
	藤井	B	B	B	B	B	A	B	B	—	B	C
	河内橋	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	C
	浅香新取水口	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	C
水のにおい	御幸大橋	B	C	D	—	C	A	C	A	—	A	A
	藤井	B	A	A	C	C	A	A	C	—	A	B
	河内橋	B	C	D	A	A	A	A	A	C	A	A
	浅香新取水口	B	A	C	D	C	A	C	C	A	C	A
達成率			3/4	1/4	2/3	1/4	4/4	3/4	4/4	2/4	4/4	0/4
			4/4	4/4	2/3	4/4	4/4	4/4	4/4	2/4	4/4	4/4
			4/4	4/4	3/3	4/4	4/4	4/4	4/4	2/4	4/4	0/4
			2/4	1/4	1/3	1/4	4/4	2/4	2/4	1/4	3/4	4/4
合計			13/16	10/16	8/12	10/16	16/16	13/16	14/16	7/16	15/16	8/16

注1) ■は計画目標を未達成。

注2) 御幸大橋H25は悪天候のため実施していない

注3) 御幸大橋、藤井H30は悪天候のため実施していない

表9 感覚評価指標の評価ランク

ランク	説明	ランクのイメージ	評価指標と評価レベル			
			ごみの量	透視度(cm)	川底の感触	水のにおい
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない	
C	川の中に入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあつて不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる
D	川の水に魅力がなく、川に近づくにくい		川の中や水際にゴミがあつてとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる

出典)国土交通省河川局河川環境課「今後の河川水質管理の指標について(案)【改訂版】(平成21年3月)」より抜粋

(2) 指標生物

- ・令和2年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標レベルに対し、4地点中3地点で達成した。
- ・御幸大橋にて継続して目標レベルを達成できるよう、支川を含め、水生生物に影響する物質(界面活性剤等)の削減等水質改善に努めることが必要である。

地点別の指標生物による水質評価ランクの推移を表10に、指標生物と水質評価ランク区分を表11に示す。

表10 指標生物による水質評価ランクの推移

河川名	基準地点	現計画目標	実績									
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R02
大和川	御幸大橋	B	C	C	—	C	C	B	C	—	B	C
	藤井	B	B	B	B	B	C	C	C	—	C	B
	河内橋	B	B	B	B	A	B	C	B	B	C	B
	浅香	B	B	B	B	D	B	B	B	B	B	B
達成率			3/4	3/4	3/3	2/4	2/4	2/4	2/4	2/2	2/4	3/4

※■は計画目標を未達成。

※御幸大橋H25は悪天候のため未実施

※指標生物が見つからない場合は、知見者の判定により、一番良い判定を採用。

表11 指標生物と水質評価ランク区分

ランク		説明	指標生物
A	きれいな水	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	カワゲラ ナガレトビケラ 等
B	ややきれいな水	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	コガタシマトビケラ オオシマトビケラ 等
C	きたない水	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	ミズムシ ミズカマキリ 等
D	とてもきたない水	生物が生息・生育・繁殖しにくい	セスジユスリカ チョウバエ 等

出典)国土交通省河川局河川環境課「今後の河川水質管理の指標について(案)【改訂版】(平成21年3月)」

5. 監視項目の状況

5.1 アンモニア性窒素

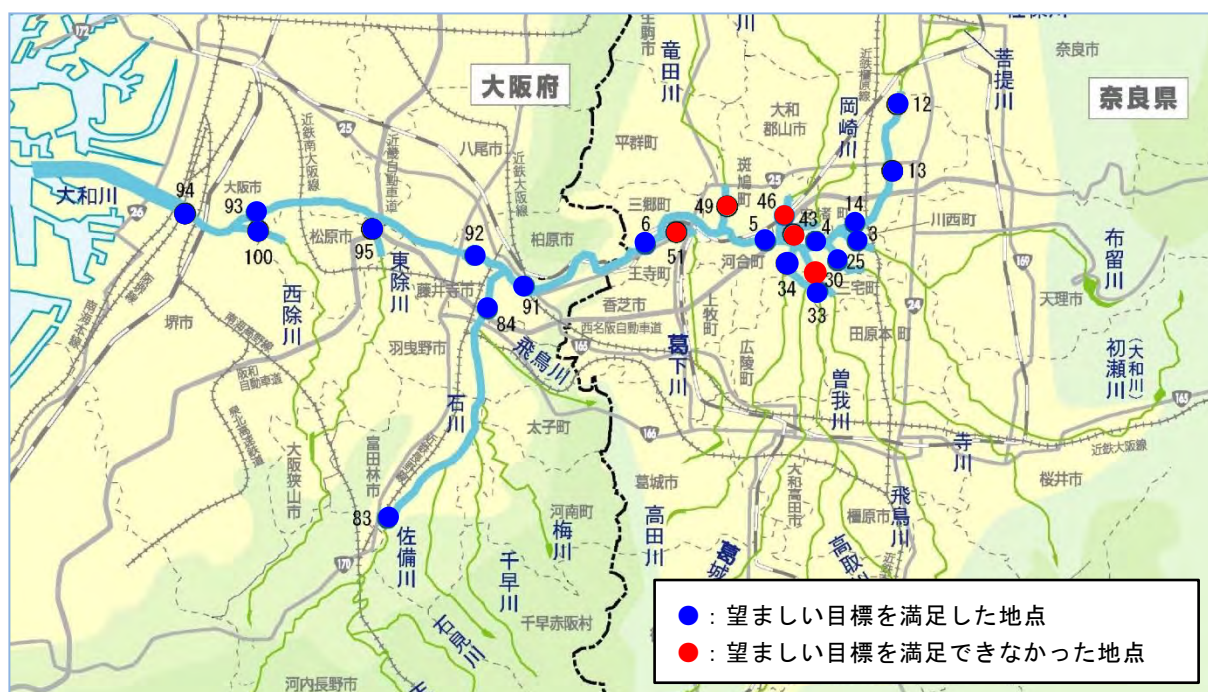
- ・令和2年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標（望ましい目標値に対する年度最大値）を、本川は8地点すべてで、支川は15地点中10地点で達成した。
- ・目標値に満たない地点においては、下水道及び合併処理浄化槽の整備等事業の推進や発生源対策等に努め、今後の測定結果に注視することが必要である。

アンモニア性窒素の望ましい目標の設定河川等を表12に、地点別のアンモニア性窒素の状況を図13、表5.1.2に示す。

表12 アンモニア性窒素の望ましい目標の設定河川等

望ましい目標		大阪府域	奈良県域
Bランク以上 (0.5mg/L以下)	大和川 本川	国豊橋 91、河内橋 92、 浅香新取水口 93、遠里小野橋 94	上吐田橋 3、太子橋 4、御幸大橋 5、藤井 6
	支川	石川：石川橋 84、高橋 83 東除川：明治小橋 95 西除川：大和川合流直前 100	佐保川：郡界橋 12、井筒橋 13、額田部高橋 14 寺川：吐田橋 25、飛鳥川：保田橋 30 曾我川：小柳橋 33、保橋 34 岡崎川：岡崎川流末 43、富雄川：弋鳥橋 46 竜田川：竜田大橋 49、葛下川：だるま橋 51

注) 数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号



(数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号)

図13 アンモニア性窒素の状況(令和2年度の最大値)

表 5.1.2 アンモニア性窒素の状況

区分	河川名	基準地点	望ましい 目標値 (mg/L)	実績 (年度最大値・mg/L)									
				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度
奈良 県域	大和川 本川	カミハンダバシ 上吐田橋	0.5	0.06	0.18	0.13	0.05	0.07	0.14	0.05	0.05	0.06	0.10
		タイシバシ 太子橋	0.5	0.23	0.23	0.25	0.15	0.33	0.35	0.78	0.54	0.61	0.15
		ミユキオオハシ 御幸大橋	0.5	0.57	0.35	0.30	0.26	0.25	0.24	0.53	0.32	0.30	0.32
		フジイ 藤井	0.5	0.67	0.45	0.42	0.36	0.42	0.39	0.66	0.60	0.39	0.44
	佐保川	グンカイバシ 郡界橋	0.5	0.78	0.36	0.48	0.35	0.21	0.32	0.55	0.36	0.87	0.33
		イツツバシ 井筒橋	0.5	0.59	0.53	0.41	0.22	0.24	0.21	0.51	0.27	0.35	0.28
		ヌカトベタカハシ 額田部高橋	0.5	0.42	0.48	0.23	0.24	0.22	0.20	0.25	0.24	0.64	0.24
	寺川	ハンダバシ 吐田橋	0.5	0.10	0.20	0.11	0.26	0.05	0.21	0.08	0.07	0.05	0.05
	飛鳥川	ホタバシ 保田橋	0.5	0.38	0.55	0.48	0.47	0.09	0.22	0.37	0.37	0.26	0.65
	曽我川	コヤナギバシ 小柳橋	0.5	0.71	0.33	0.38	0.36	0.26	0.22	0.36	0.33	0.21	0.29
		タモツバシ 保橋	0.5	0.62	0.55	0.39	0.41	0.23	0.23	0.35	0.30	0.21	0.27
	岡崎川	オカザキガワリュウマツ 岡崎川流末	0.5	3.00	0.65	3.10	0.50	1.80	0.80	0.91	0.46	1.20	0.76
	富雄川	イトリバシ 弔鳥橋	0.5	0.27	0.51	0.61	0.80	0.44	0.21	0.38	0.19	0.95	0.55
	竜田川	タツタオオハシ 竜田大橋	0.5	1.50	1.10	0.29	1.20	0.66	0.67	1.00	0.97	0.78	1.10
大阪 府域	大和川 本川	葛下川 だるま橋	0.5	2.50	1.50	1.60	1.20	0.71	0.52	0.98	1.90	0.53	1.90
		クニトヨバシ 国豊橋	0.5	0.67	0.53	0.38	0.32	0.23	0.24	0.52	0.42	0.36	0.36
		カワチバシ 河内橋	0.5	0.49	0.36	0.24	0.27	0.19	0.19	0.38	0.33	0.27	0.27
		アサカシンシュスイコウ 浅香新取水口	0.5	0.36	0.35	0.21	0.18	0.13	0.14	0.27	0.20	0.14	0.35
	石川	オリオノバシ 遠里小野橋	0.5	0.42	0.30	0.24	0.19	0.15	0.15	0.26	0.20	0.16	0.36
		イシカワバシ 石川橋	0.5	0.14	0.09	0.12	0.13	0.09	0.09	0.11	0.09	0.10	0.08
		タカバシ 高橋	0.5	0.07	0.17	0.04	0.35	0.07	0.07	0.40	0.29	0.11	0.04
	東除川	メイジコバシ 明治小橋	0.5	1.00	1.20	1.20	0.61	0.71	0.80	0.70	0.51	0.42	0.48
	西除川	ヤマトガワゴウリュウチョ 大和川合流直前	0.5	5.50	0.31	0.17	0.67	0.09	0.07	0.70	1.50	0.41	0.18
	達成率		本川	5/8	7/8	8/8	8/8	8/8	8/8	4/8	6/8	7/8	8/8
			支川	6/15	7/15	11/15	10/15	11/15	11/15	8/15	11/15	9/15	10/15

■は計画目標を未達成。

目標ランクの達成状況は参考値がある地点で評価
国、府県の調査地点を含むため年度で整理。

5.2 糞便性大腸菌群

- ・令和2年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標（望ましい目標値に対する7～8月平均値）を、9地点中4地点で達成した。
- ・太子橋、御幸大橋、藤井、国豊橋、河内橋の糞便性大腸菌群低減に向け、引き続き対策等に努めることが必要である。

糞便性大腸菌群の望ましい目標の設定河川等を表13に、地点別の糞便性大腸菌群の状況を図14、表14に示す。

表13 糞便性大腸菌群の望ましい目標の設定河川等

望ましい目標		大阪府域	奈良県域
1,000 個 /100mL 以下	大和川	国豊橋 91、河内橋 92、	上吐田橋 3、太子橋 4、御幸大橋 5、藤井 6
	本川	浅香新取水口 93、遠里小野橋 94	
	支川	石川：石川橋 84	

注) 番号は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号



(数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号)

図14 糞便性大腸菌群の状況(令和2年7～8月平均値)

表 14 糞便性大腸菌群の状況

河川	基準地点	望ましい 目標値 (個/100mL)	実績水質 (7-8月平均値, 個/100mL)									
			H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度
大和川	カミハンダバシ 上吐田橋	1,000	2,430	165	81	376	570	86	140	45	79	510
	タイシバシ 太子橋	1,000	10,100	1,750	131	5,850	6,800	9,500	1,450	3,350	1,300	2,550
	ミユキオオハシ 御幸大橋	1,000	76,550	1,030	34	2,550	3,350	2,640	1,500	1,900	610	1,855
	フジイ 藤井	1,000	6,300	560	64	1,730	2,800	3,100	1,400	485	575	1,890
	クニトヨバシ 国豊橋	1,000	34,500	1,750	570	2,600	3,800	3,270	1,400	1,150	885	1,030
	カワチバシ 河内橋	1,000	24,000	1,040	105	1,680	1,530	2,060	790	755	530	1,045
	アサカシンシュスイコウ 浅香新取水口	1,000	1,510	109	17	860	620	595	940	160	285	630
	オリオノバシ 遠里小野橋	1,000	3,350	800	107	2,900	3,700	4,700	2,950	1,860	4,600	600
石川	インカワバシ 石川橋	1,000	8,300	610	39	960	1,660	930	625	730	730	790
達成率			0/9	5/9	9/9	3/9	1/9	3/9	4/9	5/9	7/9	4/9

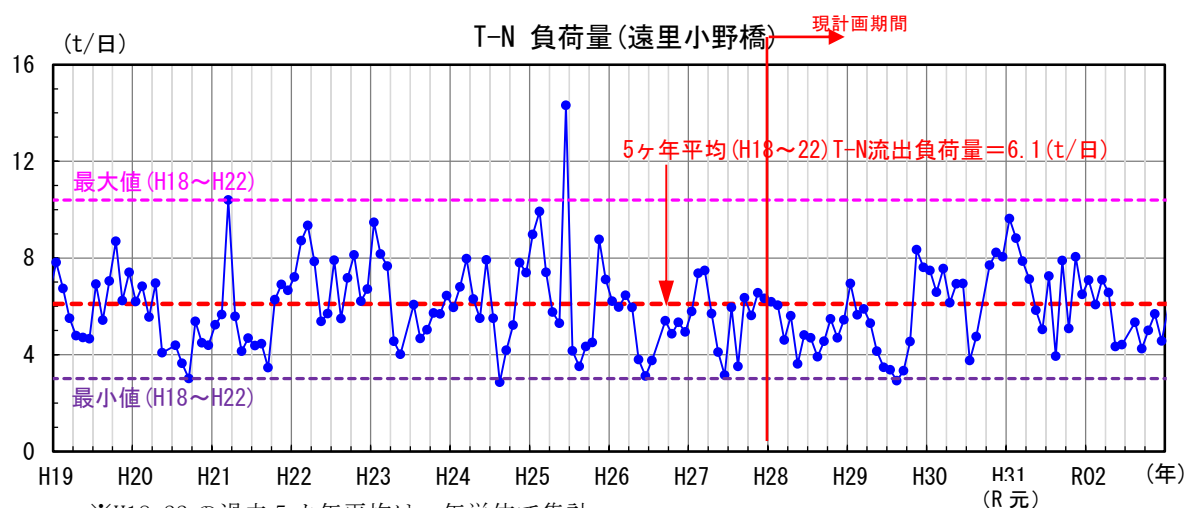
注) ■は計画目標を未達成。

注) 上吐田橋H29年度は7月単月の結果

5.3 T-N(全窒素)、T-P(全リン)

- ・令和2年度のT-N、T-Pの流出負荷量は、大和川水環境改善計画で定めている目標である、過去5ヵ年(平成18～22年)流出負荷量の変動の範囲内である。今後も引き続き、測定結果の変動を注視する。

遠里小野橋の定期水質調査時のT-N流出負荷量、T-P流出負荷量の推移をそれぞれ図15、図16に示す。

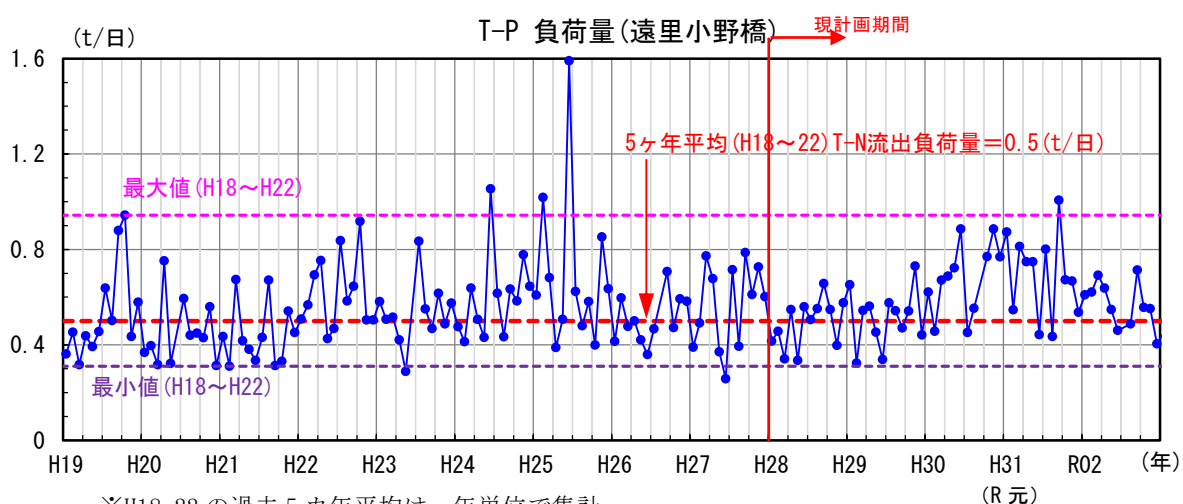


※H18-22の過去5ヵ年平均は、年単位で集計

※H23.6、H26.8、H30.9は流量欠測

※H25.6にH18-22の最大値を大きく超えているが、当該月の降雨量が多かったことから、流量が増大し流出負荷量が増加したと考えられる

図15 大和川本川のT-N流出負荷量(定期水質調査時)の推移



※H18-22の過去5ヵ年平均は、年単位で集計

※H23.6、H26.8、H30.9は流量欠測

※H25.6にH18-22の最大値を大きく超えているが、当該月の降雨量が多かったことから、流量が増大し流出負荷量が増加したと考えられる

図16 大和川本川のT-P流出負荷量(定期水質調査時)の推移

5.4 陰イオン界面活性剤

- ・令和2年度の陰イオン界面活性剤は、全地点平均で0.045mg/Lであった。
- ・平成23～平成27年度平均と比較すると、令和2年度は全地点平均で6%の低減となった。
- ・生き物にやさしい大和川に向け今後も引き続き陰イオン界面活性剤の測定結果の変動に注視する。

地点別の陰イオン界面活性剤の状況をそれぞれ表15、図17に示す。

表15 陰イオン界面活性剤の状況（1～2月平均）

区分	河川	地点	H23-27平均 (参考)	年度 実績 (1-2月平均(mg/L))				
				H28	H29	H30	R元	R02
奈良県域	大和川	カミハンダバシ 上吐田橋	0.030	0.040	0.030	< 0.010	0.010	0.020
		タイシバシ 太子橋	0.048	0.050	0.060	0.040	0.040	0.030
		ミユキオオハシ 御幸大橋	0.048	0.050	0.050	0.030	0.030	0.040
		フジイ 藤井	0.055	0.035	0.060	0.035	0.035	0.050
	佐保川	ゲンカイバシ 郡界橋	0.068	0.080	0.120	0.040	0.070	0.140
		イツツバシ 井筒橋	0.076	0.060	0.070	0.030	0.090	0.080
		ヌカベタカハシ 額田部高橋	0.055	0.030	0.070	0.035	0.060	0.050
	曽我川	コヤナギバシ 小柳橋	0.046	0.030	0.045	0.020	0.015	0.030
		タモツバシ 保橋	0.050	0.050	0.060	0.030	0.040	0.040
大阪府域	大和川	クニトヨバシ 国豊橋	0.048	0.040	0.060	0.030	0.030	0.040
		カワチバシ 河内橋	0.041	0.030	0.050	0.025	0.030	0.030
		アサカシンシュスイコウ 浅香新取水口	0.040	0.020	0.040	0.025	0.020	0.035
		オリオノバシ 遠里小野橋	0.041	0.030	0.045	0.025	0.030	0.030
		イシカワバシ 石川橋	0.030	0.015	0.020	< 0.010	0.010	0.015
	石川							
		全地点平均	0.048	0.040	0.056	0.028	0.036	0.045
H23-27平均からの増減率			—	-17%	17%	-42%	-25%	-6%

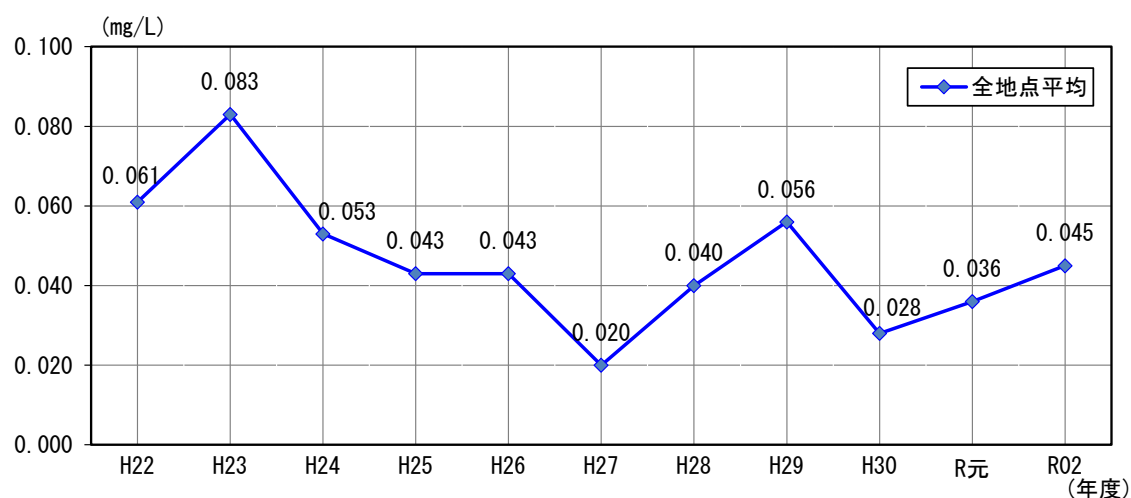


図17 陰イオン界面活性剤の経年変化（全地点平均）

6. 施策の実施状況

6.1 施策の概要

本計画の施策と役割分担を表 16 に示す。

表 16 計画施策と役割分担

○:実施主体 □:協力主体	住民	事業者	協議会	市町村	府県	国 (大和川河川事務所)
(1)発生源対策						
1)生活排水対策の推進						
◇情報発信			○	○	○	○
◇流域住民参加活動の実施	□	□	○	○	○	○
◇流域連携の促進	□	□	○		○	
2)環境学習・体験学習の推進						
◇市民による水環境改善活動の支援	□		○		○	○
◇学校における環境学習・体験学習の支援			○	○	○	
◇企業による水環境改善活動の支援		□			○	
◇水辺体験の支援	□		○	○	○	○
3)ごみ対策の推進						
◇清掃活動の推進	○	○	○	○	○	
◇ごみの不法投棄防止の啓発活動	○	□	○	○	○	○
◇市民団体による清掃活動の支援	○	○		○	○	
◇企業による清掃活動の支援	○	○			○	
4)事業所排水対策の推進						
◇工場・事業所に対する排水規制・指導		□		○	○	
◇その他施設からの排出負荷量の削減		□		○	○	
5)水質事故対策の推進						
◇水質事故防止に関する啓発		□	○		○	
◇水質事故発生時の被害防止対策		□	○	○	○	○
(2)汚濁負荷削減対策						
1)下水道事業の推進						
◇公共下水道幹線の整備				○		
◇流域下水道の整備促進					○	
◇高度処理の推進					○	
◇合流式下水道の改善(奈良市、大和郡山市)				○		
◇下水道接続の推進	□	□	○	○	○	
2)浄化槽事業及び関連事業の推進						
◇下水道計画区域外の生活排水適正処理の啓発	□	□		○	○	
◇浄化槽の適正管理の指導	□	□		○	○	
3)河川浄化施設の効率的な運用						
◇既存浄化施設の適正な維持管理				○	○	○
◇既存浄化施設の機能向上						○
◇既存浄化施設の運用方法の見直し					○	○
(3)河川の本来機能の再生対策						
1)多種多様な動植物が生息・生育できるような水環境の保全・再生創出						
◇瀬・淵の再生						○
◇水際環境の保全・再生						○
◇多自然川づくり					○	
2)安全で快適な親水空間の提供						
◇親水空間の確保	□			○	○	○
3)周辺環境と調和した河川景観の創出						
◇歴史・風土と調和した河川景観の形成	□				○	○
4)水量感のある豊かな水環境の確保						
◇下水高度処理水の有効活用(大阪府)					○	
◇健全な水循環の推進(奈良県)					○	
(4)目標達成が困難な支川の重点対策						
◇情報発信の強化			○	○	○	
◇住民参加活動の強化	□		○	○	○	
◇流域連携の強化	□		○	○	○	
(5)水質監視・調査研究						
1)水質監視						
◇水質測定計画のとりまとめ					○	○
◇水質監視			○	○	○	○
◇大和川水環境白書の作成			○			
◇合同パトロールの実施(大阪府内河川)				○	○	
2)調査研究						
◇水環境アドバイザーと連携した水質汚濁機構の 解明など調査研究の推進			○			○

6.2 取り組みの例

以下では、上述の計画施策に対し、令和2年度に実施された具体的な施策の事例を紹介する。

(1) 大和川水質改善強化月間（発生源対策：生活排水対策の推進）

大和川の水を少しでもきれいにすることを目的に、平成 22 年度から、毎年 2 月を「大和川水質改善強化月間」とし、大和川の水の汚れの主要因である家庭で使った水(生活排水)の汚れを減らす取り組みの実施を流域全体の各家庭へ呼びかけており、令和 2 年度も同様に実施した。

令和２年度は、令和元年度より始めたチラシ広告アプリ Shufoo(シュフー)を使用したチラシ配信を２回行った。

表 17 令和 2 年度 強化月間における取組み概要

項目	内容
実施期間	広報実施期間 : 令和2年12月～令和3年2月 強化月間実施期間 : 令和3年2月1日(月)～令和3年2月28日(日)
実施内容	水質改善強化月間の啓発・広報、水質改善効果の把握(アンケート調査、水質調査)
広報手段	チラシ・ポスター、広報誌、各機関のホームページへバナー広告、記者発表、回覧板(チラシの回覧)、各種イベント等の連携、車両シール・のぼり旗、学校へのチラシ配布、協賛企業・協賛団体の募集・協力要請、フェイスブック、ならリビングへの掲載、Shufoo(シューフー)
参加状況	参加率 : 12.1%(WEBアンケート結果より)
水質調査	調査時期 : 1月(月間前)、2月(月間中) 地点数 : 全10地点 調査項目 : BOD、陰イオン界面活性剤、塩化物イオン



図 18 生活排水の汚れを減らす取り組み



図 19 強化月間チラシ


大和川水環境協議会事務局
 1月25日 水曜日

★ 2月は大和川の「水質改善強化月間」です ★
 ★ 2月1日（月）からスタート!! ★

大和川流域は年間降水量が全国平均より少なく
 （全国約1,700mm、大和川約1,300mm）
 特に、水量が少なくなる冬場は川の汚れがひどくなります。
 このため、大和川流域では川の水が少なくなる2月を
 「水質改善強化月間」
 （大阪府では「生活排水対策推進月間」）として定め、
 大阪府、奈良県、国土交通省と流域の36市町村が中心となり、
 改善のための行動の工夫を呼びかけています。

流域市町村の窓口や呼びかけ人として
 ご協力頂いている企業や団体、
 教育機関から配布するチラシができました！
 「残さない」「ふさ」とる」「流さない」の3つの合言葉をもとに、み
 なさんでチャレンジしてみましょう！

これから関連情報をどんどん発信していきますのでお楽しみに！
 大和川の水質改善にご協力、よろしくお願ひします！



17
リーチした人数

19
エンゲージメント数

投稿を宣伝



[illegible]

発行部数：302,420 部

北和版：奈良市、生駒市、天理市、
大和郡山市

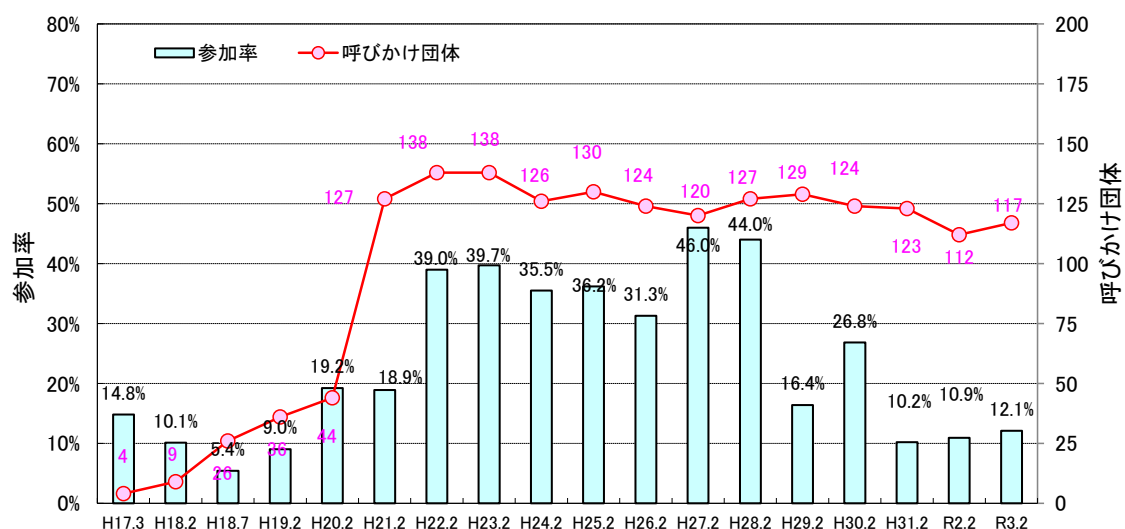
中和版：天理市、橿原市、桜井市、
大和郡山市、大和高田市、五條市、
御所市、香芝市、葛城市、宇陀市、
生駒郡、北葛城郡、磯部郡、高市郡

配布形態：朝日・読売・毎日・産経の各紙より

折り込み配布、スーパー店舗等に設置

大和川水質改善強化月間への参加率と呼びかけ団体の推移を図 22 に、強化月間における水質調査結果を表 18 に示す。

強化月間前・期間中の水質調査結果から、令和 2 年度は、BOD が全 10 地点の内 4 地点、陰イオン界面活性剤が全 10 地点の内 0 地点、塩化物イオンが全 10 地点の内 9 地点という改善結果が見られた。



※H29.2、H30.2、H31.2の参加率の急な増減は、アンケートの実施方法や設問の内容が変更になったことが原因と考えられる。

図 22 参加率と呼びかけ団体の推移

表 18 強化月間における水質調査結果（令和 2 年度）

令和2年度調査結果

(単位: mg/L)

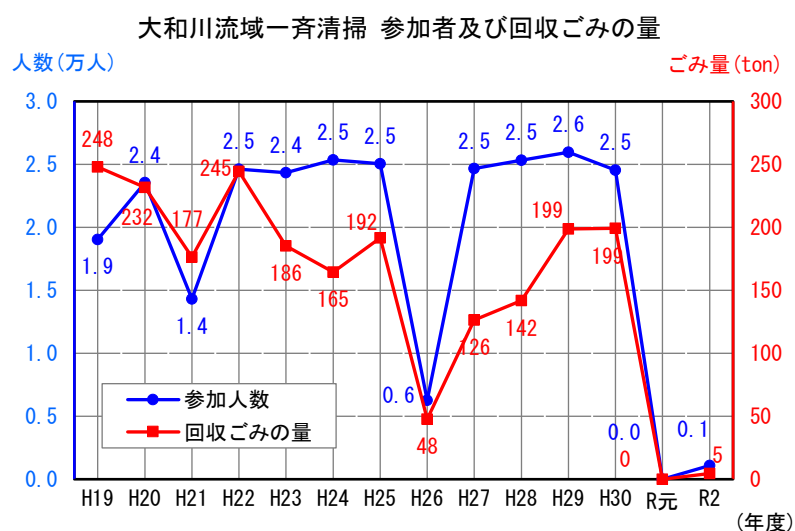
調査主体・地点		BOD			陰イオン界面活性剤			塩化物イオン		
		1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率	1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率	1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率
国土交通省	遠里小野橋	2.3	2.0	13.0%	0.030	0.030	0.0%	47	35	25.2%
	浅香新取水口	1.9	2.5	0.0%	0.030	0.040	0.0%	42	41	3.1%
	河内橋	2.4	2.4	0.0%	0.030	0.030	0.0%	34	29	14.7%
	石川橋(石川)	0.7	0.8	0.0%	0.010	0.020	0.0%	23	20	15.9%
	藤井	4.2	3.6	14.3%	0.050	0.050	0.0%	40	33	16.2%
	御幸大橋	4.2	3.6	14.3%		0.040	0.0%	34	31	9.7%
	保橋(曾我川)		2.5	0.0%		0.040	0.0%		38	0.0%
	太子橋	3.5	3.7	0.0%		0.030	0.0%	40	37	6.8%
	額田部高橋(佐保川)	2.9	3.3	0.0%	0.050	0.050	0.0%	20	19	7.9%
	上吐田橋	2.0	1.5	25.0%		0.020	0.0%	10	8	20.4%

—: 未測定 ■: 改善効果あり ■: 調査未実施

(2) 大和川一斉清掃（発生源対策：ごみ対策の推進）

大和川の美化・愛護意識を高めきれいな川を取り戻すため、国や府県、流域市町村、関係団体で連携し、大和川の流域が一体となった美化活動として、毎年3月に「大和川一斉清掃（大阪府における名称は大和川・石川クリーン作戦）」を行っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大阪府の大和川・石川クリーン作戦は中止し、奈良県の一斉清掃は規模を縮小して実施した。



※H21、H26年は雨天による中止会場あり

R元は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小

図 23 一斉清掃参加者数・回収ごみ量の経年変化（平成19～令和2年度）

■奈良県一斉清掃の実施状況

＜実施日時＞ 令和3年3月7日（日）

＜実施場所＞ 奈良県内の大和川流域25箇所

＜参加人数＞ 1,108人

＜ごみ回収量＞ 約4.6トン

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して実施。



(3) 「大和川クリーンデー」の清掃活動（発生源対策：ごみ対策の推進）

大和川河川事務所では、毎年7月の河川愛護月間の一環として、第2土曜日を「大和川クリーンデー」とし、河川公園を占有している自治体や、大和川水環境協議会の構成自治体に呼びかけ、「大和川クリーンデー」を中心に流域全体で一斉清掃を行っている。

■取組結果等

【令和2年度の実施状況】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

【令和元年度の状況：参考】

日時：令和元年7月6日（土）、13日（土）、14日（日）、15日（月）、21日（日）

会場：流域内（6市2町）

参加者数：約6,000人

収集したゴミの量：約21トン



王寺町会場



八尾市会場



柏原市会場

(4) やまとがわ水生生物観察会（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

水生生物調査を通じて、大和川の水質の現状を知ってもらい、水質改善の必要性を啓発することを目的に開催している。

■取組結果等

一般社団法人 淡水生物研究所の講師等を招き、奈良県域 1 回、大阪府域 5 回(参加者計 377 名) 開催した。この取り組みは、楽しみながら川に親しめることから、子どもへの水環境教育の導入プログラムとして効果が高いと考えられる。

- ・ 令和 2 年 9 月 17 日（木）：大阪府堺市堺区浅香山町（浅香）
参加者：堺市立錦綾小学校 28 名
- ・ 令和 2 年 9 月 29 日（火）：大阪市東住吉区（行基大橋）
参加者：大阪市立矢田小学校 24 名
- ・ 令和 2 年 10 月 1 日（木）：大阪府堺市堺区浅香山町（浅香）
参加者：堺市立錦綾小学校 45 名
- ・ 令和 2 年 10 月 6 日（火）：大阪府柏原市大正（河内橋）
参加者：堺市立八田壮西小学校 44 名
- ・ 令和 2 年 10 月 13 日（火）：大阪府堺市堺区浅香山町（浅香）
参加者：大阪市立山之内小学校 85 名
- ・ 令和 2 年 10 月 16 日（金）：大阪府大阪市平野区（瓜破大橋）
参加者：大阪市立瓜破西小学校 50 名
- ・ 令和 2 年 10 月 22 日（木）：大阪府柏原市大正（河内橋）
参加者：富田林市立錦郡小学校 41 名



(5) 大和川博士講座（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

大和川流域住民への水環境改善意識の啓発を目的に、流域市町村で実施されるイベント等とタイアップして実施している。

■取組結果等

令和2年度は、奈良県域6回、大阪府域2回の計8回で開催し、「大和川博士」が生活排水対策や水防への取り組みについて、紙芝居などを使いわかりやすい説明に努めた。

「博士講座」や「洗剤の残留実験」について、参加者からは「生活排水対策への取り組み方など実践を交えた説明が分かりやすく、理解できた。」等の感想があり、水環境改善意識の啓発プログラムとして有効なものとなった。

- ・令和2年10月4日（日）：みんなのかっぱ教室（国営飛鳥歴史公園 石舞台地区）
参加者：29名
- ・令和2年11月6、7日（金、土）：ふれあい土木展2020（近畿技術事務所）
参加者：1313名
- ・令和2年11月17日（火）：大和川博士のお話し会（大阪市 大阪市立矢田北、矢田東、矢田西、矢田小学校）
参加者：約130名
- ・令和3年1月14日（木）：アクリルタワシ作製講座（奈良県 県産業会館）
参加者：約24名



10/4 みんなのかっぱ教室



11/17 大和川博士のお話し会

(6) 水環境巡回パネル展（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

市町村が取り組む PR 行事とタイアップして実施し、流域の方々に大和川の水環境の現状を知ってもらい、さらには水質改善の取り組みの必要性について理解・関心、協力していただくことを目的に実施している。

■取組結果等

[巡回パネル展(展示)]

令和2年度は、奈良県域6箇所で開催し、展示パネルは「大和川が汚れる原因」「水質改善への取り組み」等を紹介した。併せてパンフレット、チラシを配布した。

[巡回パネル展(展示)]

- ・令和2年11月6日（金）～7日（土）：ふれあい土木展2020（近畿技術事務所）
- ・令和3年1月29日（金）～2月5日（金）：
パネル展示（（財）奈良市生涯学習財団 奈良市西部公民館5階廊下）
- ・令和3年2月5日（金）：パネル展示、大和川コンクール受賞作品（イオンモール橿原）
- ・令和3年2月8日（月）～12日（金）：パネル展示（奈良市役所庁舎1階ホール）
- ・令和3年2月9日（火）～14日（日）：パネル展示、大和川コンクール受賞作品（図書情報館）
- ・令和3年2月12日（金）～19日（金）：
パネル展示（はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター））
- ・令和3年2月17日（水）：パネル展示、大和川コンクール受賞作品（イオンモール大和郡山）※常駐していなかったため、ブース来訪者数は不明



ふれあい土木展2020



イオンモール展示

(7) 大和川【絵・ポスター・作文・写真】コンクール(発生源対策：生活排水対策の推進)

「泳いで遊べるきれいな大和川」を目指して昭和 60 年からはじまった本コンクール。作品応募を通して、大和川の水環境の大切さを実感していただくことを目的としている。

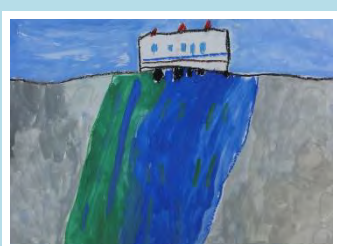
■取組結果等

今回で 36 回目となり、応募総数 850 点（累計 120,128 点）の中から、絵・写真部門、作文部門から 30 品と入選作品を 82 点、地域環境教育奨励賞を 2 校選出し、賞状及び記念品を贈呈した。

日時：令和 3 年 2 月 15 日（月）～2 月 19 日（金）

会場：イオンモール堺北花田 1 階ノースコート

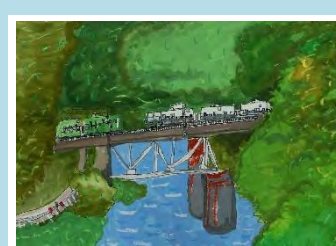
テーマ：「だあいすき！私の大和川」



＜ 絵部門 低学年の部 ＞
＜ 近畿地方整備局長賞 ＞



＜ 絵部門 低学年の部 ＞
＜ 大阪府知事賞 ＞



＜ 絵部門 低学年の部 ＞
＜ 奈良県知事賞 ＞



＜ ポスター部門 ＞
＜ 近畿地方整備局長賞 ＞



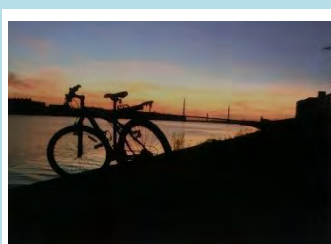
＜ ポスター部門 ＞
＜ 大阪府知事賞 ＞



＜ 作文部門 近畿地方整備局長賞 ＞



＜ 写真部門 ＞
＜ 近畿地方整備局長賞 ＞



＜ 写真部門 ＞
＜ 大阪府知事賞 ＞



＜ 作文部門 大阪府知事賞 ＞



入賞作品の展示状況

(8) 大和川水環境協議会 大阪府域連絡会

1) 大和川・石川クリーン作戦

■概要

大和川・石川流域等の水質改善及び河川の美化・愛護意識を府民に広げることを目的に、国土交通省・大阪府・流域13市町村の主催により、平成9年度より実施している。

■取組結果等

実施時期は毎年3月の第一日曜日に実施している。

※令和元年度につきましては、盛大に開催すべく準備を重ねてきたところではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大変残念ながら中止した。

※令和2年度につきましても新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大変残念ながら中止した。

【参考】過去開催時の風景



2) 親と子のふれあい自然学習会（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

■概要

身近な河川の自然に触れることによって、子どもたちの河川に対する豊かな感受性を育てるため、環境教育事業の一環として、南河内3市2町1村で共同し、事業の開催を予定していましたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

【令和元年度の状況：参考】

■取組結果等

- ・と き：令和元年8月7日(水)
- ・ところ：石川上流 河内長野市滝畑（出合橋付近）
- ・内 容：水生生物及び魚の展示並びに解説を行い、その地域にいる生物から川の汚れの程度を調査する。
- ・参加者：主催市町村に居住又は在勤の親子等
- ・主 催：南河内3市2町1村
(河内長野市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村)
大和川水環境協議会大阪府域連絡会



3) 大和川・石川プラスチックごみ調査&クリーンアップ大作戦! ~ Let 's MIGO in ふじいでら ~

■概要

街中で発生したごみが大和川を流下している実態等を把握することを目的に、大和川・石川プラスチックごみ調査&クリーンアップ大作戦を開催した。イベントには大学や企業、流域住民等が参加し、回収されたごみの組成調べや啓発を実施した。

【令和3年度の状況】

■取組結果等

- ・と き：令和3年11月27日(土)
- ・ところ：大阪府藤井寺市 船橋河川敷野球場
- ・内 容：エリア内のごみを回収して組成調査をするとともに、ごみ拾いしながらの運動メニューの紹介（ながら運動）、集めたごみで即興ごみアート制作等を実施した。
- ・参加者：82名
- ・主 催：大和川水環境協議会大阪府域連絡会

◆ながら運動の紹介



ごみを運びながら
肩の上げ下げ



◆集めたごみで即興ごみアート制作



◆ごみの分別



◆給茶スポット

(マイボトルの利用を呼びかけ)



◆軽食の提供

(マイ容器・マイ箸の利用を呼びかけ)



(9) 大和川水環境協議会 奈良県地域連絡会

1) アクリルタワシ作製講座（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

■概要

今なお水質ランキングワースト上位の大和川の水質汚濁源の約7割を占める生活排水への対策として、生活排水対策の意義と方法を学ぶとともに洗剤を使わなくても食器等がきれいに洗える”アクリルタワシ”を作製してもらい、水が汚れる原因と家庭でできる対策について考える機会を提供した。



■取組結果等

大和川流域で1回実施

No	実施日	実施市町村	会場	参加者数
1	令和3年1月14日（木）	大和高田市	県産業会館	24人

2) 啓発イベント

■概要

啓発イベント「ふるさと源流体験ツアー2020」に対して助成を行った。イベントでは、川遊びや水生昆虫観察、竹クラフト工作を実施するとともに水質調査を行い、川と親しみ、「きれいな大和川を取り戻すためにわたしたちができることは何か」を考えていただき、水環境改善についての意識向上を図った。

過去開催時の状況



■取組結果等

<実施日> 中止

<場 所> 中止

<参加者> ー

<助成先> 大和川わくわくフェスタ実行委員会
(事務局：NPO法人奈良NPOセンター)

過去開催時の状況



3) 生活排水対策パネル展、「大和川コンクール」入賞作品展

■概要

大和川の水質改善を目的に、生活排水対策パネル展及び大和川クリーンキャンペーンの一環として開催された「大和川コンクール」入賞作品展を実施した。

■取組結果等

- ・令和2年7月 1日（水）～ 5日（日） 県立図書館情報館
- ・令和3年2月 9日（火）～14日（日） 県立図書館情報館
- ・令和3年2月 5日（金） イオンモール橿原
- ・令和3年2月17日（水） イオンモール大和郡山



(10) 大和川水環境協議会 奈良県地域連絡会「大和川清流復活ネットワーク」

1) ホームページ運営（発生源対策：生活排水対策の推進）

■概要

「大和川清流復活ネットワーク」は、奈良県において行政と民間団体(NPO)と企業が連携して、大和川の水質改善に取り組み、清流を復活させることを目的に平成20年度に設立した。ネットワークでは『よみがえれ！大和川清流復活大作戦』という専用ホームページを開設し、大和川の水質現況や各種取り組みの状況など様々な情報発信を行っているが、今年度においても引き続き情報発信を行い、大和川の水質改善のPRを行った。



■取組結果等

ホームページの運営（サーバ管理含む）を行い、大和川の水質状況や各種取り組みの紹介等様々な情報発信を行った。

2) 啓発活動

■概要

駅前・ショッピングセンター等において、啓発チラシ・啓発物品を配布し、流域住民に対して各自でできる生活排水をできるだけ汚さない取り組みの実施を呼びかけるなど、大和川の水質改善についてのPRを行った。

また、毎年3月第1日曜日に実施している「大和川一斉清掃」を広く周知し、参加者の増加を図るため広報誌への記事掲載を行った。

■取組結果等

<街頭啓発活動>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

<記事掲載>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

3) 大和川清流復活ネットワーク会議の開催（重点区域における対策）

■概要

大和川清流復活ネットワークの取り組み状況や大和川の現状等について報告を行い、今後の取り組みについても意見交換を行った。

■取組結果等

場 所：書面開催

議 事：①大和川の水質現況について

②情報発信「水質課題の見える化」について

③重点対策支川について

④大和川一斉清掃の実施について

⑤大和川水質改善強化月間該当啓発活動について

過去開催時の状況



4) 『川の学校』（環境学習（小学生対象））

a) リバーウォッチング

■概要

小学生への環境学習サポートとして、県内小学校に長年定着している。

川で水生生物を観察し、そこに棲む水生生物を指標として、川の水質を4段階で判定することによって、自分たちが住むまちの川の状態を知り、川の汚れの原因を学ぶとともに川を汚さないために自分たちができる取り組みを考える機会を提供した。



■取組結果等

県内9箇所で開催

No	実施日	実施場所（河川名）	参加者数
1	令和3年 9月15日（土）	御所市立御所小学校（葛城川）	43人
2	令和3年10月 2日（金）	田原本町立平野小学校（寺川）	52人
3	令和3年10月 5日（月）	奈良市立平城小学校（秋篠川）	92人
4	令和3年10月 9日（金）	葛城市立忍海小学校（安位川）※	45人
5	令和3年10月19日（月）	天理市立丹波市小学校（布留川）※	37人
6	令和3年10月23日（金）	桜井市立城島小学校（栗原川）※	69人
7	令和3年10月27日（火）	桜井市立朝倉小学校（初瀬川）	22人
8	令和3年10月29日（木）	桜井市立桜井南小学校（寺川）	64人
9	令和3年10月30日（金）	御所市立掖上小学校（満願寺川）	25人

※印の実施場所については、雨天等により室内講義に変更。

b) 出前講座

■概要

小学生への環境学習サポートとして、県内小学校に長年定着している。

大和川の現状や川を汚す原因などをパワーポイントでわかりやすく解説し、パックテストを使った水質実験を行うことで川の汚れの原因を学ぶとともに川を汚さないために自分たちができる取り組みや家庭でできるひと工夫について考える機会を提供した。

■取組結果等

大和川流域小学校 8 校で実施

No	実施日	実施場所（河川名）	参加者数
1	令和3年11月 2日（月）	大和高田市立片塩小学校（高田川）	55人
2	令和3年11月 6日（金）	桜井市立朝倉小学校（初瀬川）	22人
3	令和3年11月12日（木）	桜井市立城島小学校（栗原川）	69人
4	令和3年11月17日（火）	橿原市立畝傍南小学校（高取川）	69人
5	令和3年11月19日（木）	奈良市立平城小学校（秋篠川）	92人
6	令和3年11月26日（木）	葛城市立忍海小学校（安位川）	45人
7	令和3年11月30日（月）	大和高田市立磐園小学校（高田川）	73人
8	令和3年12月 3日（木）	大和高田市立浮孔小学校（葛城川）	57人